



日本共産党
清水 雅人

下水道料金の基本水量の改定をどのように進めるのか

質問 業務用20トン未満の場合、いくら少なくとも料金が同じということに対し、異議申し立てが行われ、経済建設常任委員会が料金見直しを促す答申を行うなど、流れができています。基本水量の見直しをどう進めるのか伺う。

答弁 今後の本市における下水道事業の経営状況を見据えるとともに、使用実態に即した公平性を感じていただけるものとなるよう、審議会などしかるべき組織に諮り、中空知広域水道企業団と協議を行いながら健全経営を継続できるように検討したいと考えています。

二の坂保育所の建て替えについて

質問 市政執行方針では、施設が老朽化し耐震補強が困難な二の坂保育所については、早期建て替えに向けて具体的な検討を進めると

している。市全体の入所児童数の増減などの傾向は。また、建設スケジュールや財源の見通しは。

答弁 未就学児童数は減少していますが、入所要件に求職、就学、育児休業が加わり、今後も入所者数は、維持・微増が予想されます。保育所定数は当面維持する必要性があります。できれば平成30年度の建て替え事業実施を目指し、整備計画を策定します。

江部乙農村環境改善センターの機能再点検と基本構想策定について

質問 市政執行方針では、江部乙地域におけるコミュニティ活動の拠点形成などに向けた検討を行うため、農村環境改善センターの施設機能の再点検を行い、基本構想の策定に着手すると述べている。

日本共産党は、2年前の代表質問で国の制度を活用した取り組みを江部乙・東滝川地域で実施することを求めた。①有利な交付金を念頭ににした計画づくりなのか、②交通弱者支援など施設利用そのものが大変な市民対策も同時に進めるのか伺う。

答弁 公共サービスのワンストップ拠点や幅広い相談窓口の実現など行政機能の充実の観点と、地域住民のまちづくり活動や多様な市民や団体が集う交流の場を創出するため、地域コミュニティ活動の拠点整備としての観点など、センターに必要とされる機能を整備しながら、センターのあるべき姿を描く基本構想の策定に着手します。

また、江部乙地区コミュニティセンターなど地域公共施設の活用や集約化についても、公共施設マネジメント課や関係所管と連携していきます。構想の策定にあたっては、江部乙地域の活性化に大きな役割を担っていたいただいている団体などさまざまな皆さんと十分な意見交換などをしながら進めます。

有効な交付金については、現時点では特定の財源を想定していませんが、構想の実現にあたって、一定の改修経費などの必要が見込まれた場合には、考えていきます。交通弱者支援など施設利用そのものが大変な市民についても現時点では想定はしていませんが、基本構想の中で必要と判断した場合に、検討することになります。

市独自の35人学級の拡充等ソフト事業も時期を示すべき

質問 教育行政執行方針で、市独自の35人学級を小学5、6学年まで拡充する検討を進めるとしている。教育長も財政負担が最大の課題と述べている。しかし、長い間この状態が続いている。時期のめどについて伺う。

答弁 ずっと検討でよいとは思っていません。しかし、教員配置のための財政負担が大きいため、継続した検討とせざるを得ません。

質問 平成29年度も（仮称）女性活躍推進センター、文化ゾーンの集約など建物の計画が立てられるが、子ども医療費助成などソフト事業は、実現のめどが示されない。建物と並行してソフト事業計画を立てなければいつまでも検討が続くのではないか。

答弁 ハード面を優先しているとは考えていません。35人学級の拡充や医療費助成も考えていますが、厳しい財政事情の中で、それを優先するか頭を悩ませています。さまざまな課題を整理し、行政を進めていきたいと考えています。